

研修報告 議会広報委員会

# 宮城県加美郡加美町議会・ 宮城県名取市仙台空港を研修

去る7月22日(水)、23日(木)城里町議会広報委員会は、読者に議会の活動状況に関心を持ち、読んでもらえる広報誌を目指し、議会広報モニター制度を導入し、活発な編集活動を行っている宮城県加美町議会において視察研修をしてまいりました。

## 加美町議会



加美町・研修の様子

### 編集体制

- ◆委員数 6名
- ◆任期 2年
- ◆開催回数 1回の発行につき4回程度  
(うち1回は定例会前後)  
または会期中)

### 発行状況

- ◆名称 かみまち議会だより
- ◆創刊 平成15年5月1日  
(現在49号)
- ◆発行回数 定例会ごと年に4回
- ◆発行日数 定例会終了後  
翌々1日
- ◆発行部数 8,150部
- ◆配布対象 町内全戸、関係する  
機関及び団体

### 編集要領

- ・定例会前後、または会期中に第1回委員会を開催、編集方針や構成、記事担当委員の役割分担を決定し、委員に配布する。
- ・本会議の一般質問終了後、原稿提出を依頼。1人2件までとし、質問者が原稿を600字以内に簡潔に纏め、編集委員が内容を確認する。
- ・議案、所管事務調査、審議記事は編集委員が纏める。

- ・一般質問の追跡シリーズ・議会の主な活動や興味深い記事、町民の関係深い記事、町団体の紹介記事を盛り込み、写真や似顔絵を多用した編集にする。



議員の似顔絵を園児に依頼

### 議会モニター制度

平成23年度より導入。  
各項目に分け3段階評価。  
率直な意見、感想、要望を記入する事が出来る。

### 仙台空港にて



仙台空港・研修の様子

今回、加美町の議会広報編集調査特別委員会を視察研修し、子供たちの写真を中心に採用し、「特集」・「表紙写真の紹介」など興味を持ってもらえる記事、町民に直接関係の深いものを重点的に掲載し、町民と議会のパイプ役となる広報紙づくりに努力を重ねている。

特に、議会広報モニター制度の導入は、読者のリアルな意見、感想が届き、プラス面、マイナスイメージを記事にすることで議会への信頼度向上の効果を高めている。

又、編集委員会では自ら編集など積極的に取り組み、写真などの多さや記事の校正等にも多くの意見が盛り込まれるなど、活発な編集活動が印象に強く残った。

又、仙台空港の視察研修では、東日本大震災から4年が経過し、当時とはまた違った被害・被災状況について改めて、感じ、考える視察研修になった。

災害時の記憶を風化させぬため、当時携わった人々の行動や避難生活の様子、施設の被災状況を写真に収め、現在も空港利用者へ写真パネルを展示し、当時の状況を伝えていく。

今後いつ起こり得るか分からない災害時、議会としても素早い対応、適切な判断が求められるが、広報委員会として「伝えていく」重要性も改めて感じる視察研修になった。

# 常任委員会報告

## 総務民生常任委員会



8月19日(水)  
城里町役場 3階 委員会室

【協議事項】 傍聴人20人

- ・常北中学校改築工事(2期工事)について  
契約等に関する経緯説明
- ・城里町政治倫理条例について  
政治倫理基準に関わる付託調査結果の  
説明

## 教育産業常任委員会



7月16日(木)  
城里町役場 3階 委員会室

【協議事項】

- ・平成26年度教育産業常任委員会視察研修  
について  
行程・実施内容の調査

## 台風18号 災害状況確認



総務民生常任委員会  
教育産業常任委員会

- ・台風18号から変わった低気圧の影響による  
町内の災害の状況を確認後、委員会ごとに町  
議室において執行部より町の災害状況の説明  
をうけた。